

創薬ツールとしての「収縮型培養筋細胞系」の開発と応用

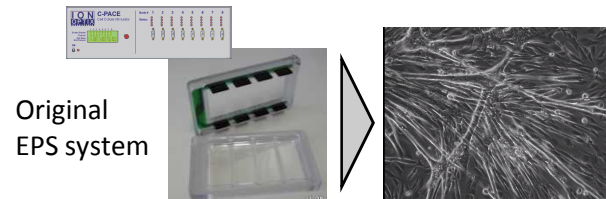


実施機関
および期間

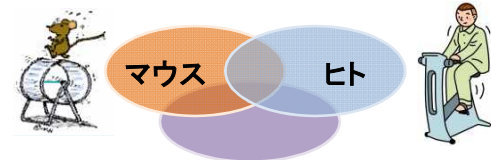
- プロジェクトリーダー: 武田薬品工業株式会社 兎澤隆一
- 実施機関: 東北大学・医工学研究科、武田薬品工業・医薬研究本部
- 実施期間: 平成25年12月～平成28年11月

研究シーズ

■ *In vitro*運動モデル(東北大)



■ *In vivo*運動モデル(武田)

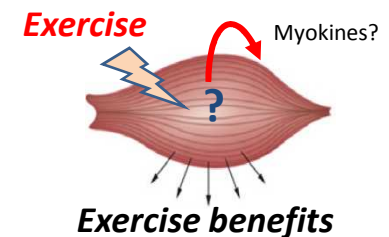


■ 分泌蛋白遺伝子リスト(武田)

■ 各種Omics解析 & 機能検証データ (東北大&武田)

期待される
研究成果
(2016年~)

- 創薬分子標的および運動効果バイオマーカー (特にマイオカイン、ncRNAなど)
- 運動効果解析プラットフォーム
- 筋代謝・運動生理学の新規知見 など



波及効果
(2020年~)

- 運動模倣薬の創製による健康寿命の延伸
 - 肥満・糖尿病とその合併症の改善
 - 筋萎縮・筋機能低下(サルコペニアなど)の改善

